



地区スローガン：「Grow Rotary：自分もクラブも成長しよう」

クラブ会長方針：～ 感謝50周年 ～ 歴史と『浪漫』そして『未来』への挑戦



国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 今野 文明 幹事 北村 悠介
例会場 京成ホテル ミラマーレ
〒260-0014 千葉市中央区本千葉町15-1
TEL 043-222-2111
例会日 毎週火曜日 12:30～
事務局 〒260-0001 千葉市中央区都町1-2-3
TEL 090-3484-2790
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

■ 会長挨拶 / 今野文明 会長

今月10月は、米山月間なので、ロータリー米山記念奨学会について、少し触れたいと思います。10月の通常のロータリー特別月間が「地域社会の経済発展月間」ですが、米山記念奨学会は、日本だけのものなので、日本独自の月間テーマが「米山月間」です。

8年前の大森会長年度に、私は親睦活動委員長だったので、親睦旅行で「米山梅吉記念館」の見学を企画させて頂きました。米山梅吉翁の人となりを学び「生涯、人の為につくすことを信条として、実行した人」で「人の為につくす」というその生き方は素晴らしいなと感じた事を思い出します。記憶に新しいところで、当クラブは2年前まで「米山奨学生 キムヘウォンさん」を受け入れていました。

1967年にロータリー米山記念奨学会が設立され、今年で58年になります。RIから認証を受けた日本のロータリー独自の多地区合同プログラムです。アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて「平和な国、日本」を肌で感じてもらいたいという願いが当時はあったようです。ロータリー米山記念奨学事業は、日本の全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生を支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てる。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために「平和日本」を世界に伝え、国際親善に寄与したいという、戦後のロータリアン達の強い願いがあったと聞いています。

ロータリー米山記念奨学会は、全国のロータリアンの寄付金を財源にして、日本の大学や大学院等で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。寄付金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金は全ロータリアンからクラブを通じて任意的に受ける寄付金で、半期に分けて納めます。特別寄付金は個人・法人・クラブから任意で行なう寄付であり、ロータリー関係者以外からの寄付も可能です。これらの寄付に対しては、米山功労者の表彰制度があります。

この日本独自の特別な「米山月間」では、クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をします。そのために米山奨学生や地区役員・委員の卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムを開催したりすることを推奨するとなっております。



■ 四つのテスト / 野城隆憲 会員

「言行はこれに照らしてから」
真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなの為になるかどうか



■ お客様

宋长妹 ソン・チャンシュさん（米山奨学生）
加藤 隆 様（地区R米山記念奨学委員会委員 / 千葉東 RC）
伊藤隆治 様（米山奨学生世話クラブカウンセラー / 成田 RC）



■ お誕生日祝い

大森 薫 浅野公夫 各会員

■ 大森薫会員スピーチ

誕生日お祝いを頂きありがとうございます。いよいよ後期高齢者になりました。これまでとは違いが出て来まして、保険料が高くなりお祝いではない状況です。ゴルフ場で減多に出ない月例会に出場したところ、年上の人にドライバーで抜かれ心を改めて頑張りたいと思いました。ありがとうございました。



■ 地区大会表彰

長寿ロータリアン…並木瑛夫 川島治代 各会員
 100%ロータリー寄付クラブ…花光和久直前ロータリー財団副委員長
 Every Rotarian Every Year クラブ…前野拓郎直前会長



■ 幹事報告

・なし

■ 委員会報告

・会員増強委員会

11月4日(火) オープン例会を開催します。
 現在ゲストは 11 名ですが、まだまだ募集しておりますので皆様のお声掛けをお願いいたします。また当日は名刺をご持参ください。



■ 地区米山記念奨学委員会 加藤 隆 委員

皆さんこんにちは 2790地区米山記念奨学委員会の千葉東ロータリークラブ所属の加藤と申します。本日は卓話にお招き頂きましてありがとうございます。地区会員の皆様には日ごろより米山記念奨学事業に対する温かいご理解とご支援を頂き、感謝申し上げます。

初めに米山記念奨学会の活動について、お話させていただきます。

米山記念奨学会の主な目的は「奨学生の育成」と「寄付の増進」です。

ロータリー米山記念奨学会は 133 の国と地域に累計 24,000 名以上が卒業し年間事業費は 15 億円以上にも上る、国内民間最大規模の国際奨学事業です。

「ロータリー運動の良き理解者となる」人材を育成するという事業の使命への期待は年々高まり「母国と日本を結ぶ懸け橋」となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

その背景には二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、「平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したい」という戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

因みに、優秀とは学業に対する熱意や優秀性はもちろんのことですが、異文化理解、コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点も含まれます。そしてロータリー米山奨学生はロータリークラブを通じての日本の文化、習慣などに触れて社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることを期待できます。また、米山記念奨学金の制度は経済的な支援だけではなく「世話クラブ・カウンセラー制度」を設けて世話クラブの例会に月一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流し国際交流・相互理解を深める共にロータリーの奉仕の精神を学びます。以上のことから米山奨学金制度の役割は今後更に社会的な重要度、必要性が高まっていくと考えています。

次に寄付金についてお話をさせていただきます。

米山奨学会への寄付金は 2 種類ございます。

一つ目は普通寄付金です。こちらは日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的にいただく寄付です。半期に 1 度、会員数分を頂戴します。2 つ目は特別寄付金です、個人、法人、またはクラブから、任意でいただく寄付金です。またロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けしております。ちなみに金額に下限・上限はありません。クラブ事務局からご申請いただければ、税制上の優遇措置を受けることもできます。

このロータリー奨学制度を続けるためにも普通寄付金と共に、特別寄付金として目標を一人 15,000 円として掲げてきまし



た。皆さまのご支援のお陰で、2024 年度は平均 16,571 円を達成できました。本当に、ありがとうございます。今年度は全国平均寄付額の 17,000 円を目指したいとガバナーからお言葉を頂いております。以上、できる限りの皆様のご協力ご支援を頂戴したくお願いを申し上げます。

寄付が増えることイコール、国際平和の創造と維持に貢献する人、その奨学生を増やすことに直結します。ロータリーの究極の目標である「世界平和の実現」のための歩みを、どうか一緒に、共に、行っていきましょう!

■ 米山奨学生卓話 米山奨学生 宋长姝(ソン・チャンシュ) さん

皆さん、こんにちは!

ロータリー米山奨学生のソンチャンシュです。本日はこのような素敵な場で卓話をさせていただく機会をいただき、本当にありがとうございます。

今日は、自己紹介、留学生活、研究内容、ロータリーの出会いと今後の目標、この 5 つに分けてお話しします。

改めまして、そんちゃんしゅと申します。出身は中国の首都・北京、現在は千葉工業大学 情報科学部の 3 年生です。家族は、両親・弟・そして猫が 4 匹! 「人間 4 人に猫 4 匹。家の中はいつも“にぎやか”というか、“猫優先”です」趣味は、料理、ファッション、SF 小説、アニメ、そしてゲームです。

私の故郷・北京は、まさに「歴史と未来が共存する都市」です。3,000 年以上の歴史を持ち、古代から現代まで、中国の中心として発展してきました。街を歩くと、伝統とテクノロジーが同時に見えるのが北京の面白いところです。例えば、北京には世界遺産の 故宮や天壇があります。また、中国を代表する伝統芸能の京劇も北京で生まれました。こうした文化遺産や芸術が、今も市民の生活と身近にあるのが、北京の魅力です。

一方で、私が育ったのは北京の南部、「亦庄（えきしょう）」という地区。ここはハイテク企業が集まる開発区で、自動運転のバスやタクシーが走り、ロボット大会が開かれるような、未来都市なんです。小学生のころから、テクノロジーに囲まれた環境で育ちました。このように、伝統とテクノロジーの両方を肌で感じられる環境で育ったことが、私の価値観を大きく形づくりました。古いものを大切にしながら、新しい技術で未来を描く。そういうバランスを、北京はいつも教えてくれます。

だから私も自然と、「テクノロジーで人の心に温かさを届ける仕事がしたい」そう考えるようになりました。そして、その想いをさらに強くしたのが、ある日本のゲームとの出会いです。それが、任天堂のゲーム『あつまれ どうぶつの森』。このゲームの中では、プレイヤーが自分のペースで暮らし、季節を感じ、動物たちと穏やかに過ごすことができます。初めてプレイしたとき、私はまるで“もう一つの世界”にいるような感覚になりました。それが、本当に心に染み込みました。その時、「IT の力で、人の心を癒すことができるんだ!」と思いました。「私も、人を楽しませたり、癒したりできる作品を作りたい」そう思い、日本の IT 技術を学ぶために留学することを決めました。日本に来ても、たくさんの出会いと経験がありました。ここからは、私の高校生活と大学生活について、少しご紹介します。

日本に来たのは、高校 3 年生の時です。初めての海外生活。言葉も文化も違って、不安と緊張でいっぱいでした。でも、その分、毎日が新しい発見の連続でした。特に印象に残っているのは文化祭です。韓国人の友達と一緒に、お互いの国の文化紹介をしました。私はチャイナドレスを着て、月餅やゴマ団子を紹介しました。たくさんの生徒が集まってきて、笑顔で「おいしい!」「かわいい!」と声をかけてくれました。文化を共有する楽しさを実感した瞬間でした。

もうひとつの思い出は【試合応援】です。学校のサッカー部や野球部の試合に、クラス全員で応援に行きました。初めて見た日本の応援は、本当に熱かったです!みんな一体になって声を出して、歌って、手をた



流れ

CONTENTS

- 1 / 自己紹介
- 2 / 留学生活
- 3 / 研究内容
- 4 / ロータリーでの出会い
- 5 / 奨学生としての目標

● 自己紹介

名前：宋长姝(そんちゃんしゅ)

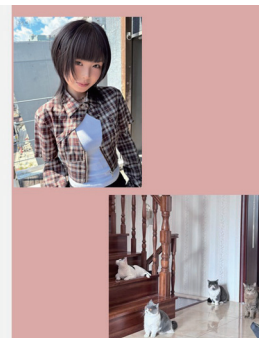
中国の首都北京の出身

高校 3 年生から日本留学～

千葉工業大学情報科学部の 3 年生

家族メンバー：ママ、パパ、弟、猫 4 匹

趣味は料理、ファッション、ゲーム、ドラマ鑑賞、SF小説、アニメ、...



● 出身地

北京：

・中国の首都、人口約2000万以上

・四季がはっきりしており、自然も豊か

・政治・文化・教育の中心

古都の歴史と未来都市の融合

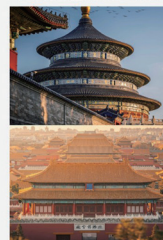


● 北京

・世界遺産：天壇・故宮

・胡同（フートン）の街並み

・京劇



ました。

こうした学校行事を通して、「違う文化でも、一緒に楽しめる」「伝えようとする気持ちが大事」ということを、身をもって学びました。この経験が、今の私の国際交流への関心にもつながっています。

大学に入ってから、さまざまな国の学生たちと関わる機会がありました。特に印象的だったのが、毎年の留学生研修合宿です。英語でグループディスカッションをして、それぞれの国の視点でテーマを話し合いました。意見が違っても、みんなで「どうすればいいか」を考えながら進めていく。その過程で、「チームで学ぶ面白さ」を感じました。途中で「英語・日本語・中国語」が混ざって、もはや「多言語力オス」でした。たくさんの合宿を通して、私は「自分の意見をしっかり伝える力」と「異なる意見を尊重する心」を身につけました。異文化交流の中で、自分の強みと課題を客観的に知ることができました。「理解されるためには、まず理解しよう」って、本当にその通りですね。高校から大学へと続く日本での学びの中で、私は「多様性」「協力」「言葉の力」の大切さを実感しました。この経験が、今の研究テーマや将来の目標にも深くつながっています。

ここまでのお話の中で、私は「言葉の力」に何度も助けられてきました。でも同時に「言葉の壁」にぶつかることもありました。特に、それが現れ（あらわれ）たのが——オノマトペです。皆さん、オノマトペってご存知ですか？「ざらざら」「ニコニコ」「ドキドキ」など、音で感覚を表す日本語特有の表現です。日本語を勉強している中国人にとっては…とても難しいです。昔の時、自分も“ニコニコ”のつもりが、“ニヤニヤ”って言っちゃって、ちょっと怪しい人になったこともあります。なぜそんなに難しいのか？理由は2つあります。

一つは言語構造の違い

中国語は、動詞そのものに細かな意味が込められています。たとえば、「瞭」という動詞は「さっと見る」、「瞪」という動詞は「じっと見る」という意味を含みます。でも日本語は、「見る」という動詞に、「ちらっと」「じっと」などのオノマトペを組み合わせることで表現します。この「微妙なニュアンス」を使い分けるのが、本当に難しい！

もう一つは 教材の不足

初級レベルに必要なオノマトペは約 100 語だけど、教科書に載っているのはたったの 4 語なんです。このギャップを埋めるために、IT の力を活用して、より自然に・楽しく・効果的に学べる教材を作りたいと考えました。私の目標は、単なる学習アプリを作るのではなく、「言葉の壁をやわらげ、異文化の理解を深める」ことです。

ロータリーの皆さまとの出会いは、私にとって大きな支えになっています。例会では、いつも温かく迎えてくださり、カウンセラーやクラブの方々も、進路や生活の相談にのっていただき、地域の活動では、いろいろな方とお話する機会もいただきました。

その中で学んだのは、「奉仕とは、笑顔を届けること」だということです。ロータリーでの経験を通して、「人とのつながり」や「支え合うことの大切さ」を改めて実感しました。本当に、心から感謝しています。これからの目標は2つあります。1つ目は、ITを活用して外国人が自然に日本語を学べる教材を開発し、異文化理解を深めること。2つ目は、日本の技術と自分のルーツを融合させ、日中の架け橋になることです。

また、米山奨学生として、地域社会との交流や文化活動にも積極的に参加し、学んだことを社会に還元していきたいと考えています。私は、ゲームで感じた“優しい世界”を、今度は現実の社会で実現していきたいと思っています。

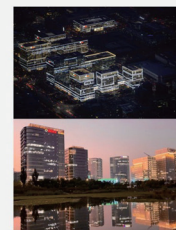
皆さまのご支援と励ましのおかげで、ここまで成長することができま

進化する国際都市

北京

私が育った街:「亦庄」

・世界ロボット大会 ・無人運転のタクシー・バス ・ハイテク企業群



北京の料理

おすすめ!

銅鍋の火鍋



・ラム肉をしゃぶしゃぶして、
ごまだれで食べる料理
・家族の絆を深める料理
・お正月にはよく食べる

日本の高校生活



オーストラリアから来た交換留学生と一緒に日帰り旅行に行き、親交を深めました。



文化祭

韓国人の友達と一緒に、それぞれ自国の伝統衣装を着て、自国のお菓子や文化を紹介しました。

日本の高校生活



試合応援

自分の高校サッカーチームや野球チームの試合を応援しに行きました。

日本の大学生生活



大学の留学生研修合宿

様々な国の留学生たちと英語でグループディスカッションを行い、発表をしました

した。心から感謝申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

● オノマトペとは？

感覚や動作を音で表す語

例：ざらざら、ニコニコ

擬音語

ニャーニャー

ザーザー

擬態語

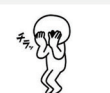
すべすべ

わくわく

● なぜ難しいのか

言語の問題：誤用しやすい

“瞭”＝さっと見る



“瞭”＝じっと見る



中国語は動詞自体に繊細な意味が含まれる

● 研究テーマ

中国人日本語学習者を対象とした
オノマトペ学習支援システムの開発と評価

キーワード：言語の学習アプリ

● カウンセラーとの思い出



● これからやりたいこと

研究を通じて

・外国人が日本語を自然に学べる教材を開発し、異文化理解を促進したい

奨学生として

・研究成果を社会に還元し、日本と中国の架け橋になる

これからの目標

・言語教育だけでなく、文化交流や地域社会とのつながりにも積極的に貢献したい

● ロータリーでの思い出



■ ニコニコBOX

- ・宮川…多忙です。
- ・大森…誕生祝をいただきありがとうございました。
- ・飯高…良い事が有りました。又今日は米山奨学生の卓話宜しくお願い致します。
- ・今野…米山奨学生ソン・チャンシュ様卓話ありがとうございました。
また、カウンセラーの成田RCの伊藤様、千葉東RC加藤様ご尽力に感謝致します。
- ・北村…本日は卓話ありがとうございました。
- ・長坂…ソンさん本日は卓話ありがとうございました。
- ・小松…奨学生のソン・チャンシュさん本日の卓話が楽しみです。気温が下がってますのでお身体をご自愛下さい。

■ 10月プログラム

- ・7日→12日(日)(振替移動例会)地区大会(TKP東京ベイ幕張ホール)
- ・14日 休会
- ・21日 ロータリー米山奨学生卓話(京成ホテルミラマーレ)(寄付金受付)
- ・28日 第3・第4グループ合同ラーニングセミナー(移動例会)(TKP東京ベイ幕張ホール)

■ 11月プログラム

- ・4日 会員増強オープン例会点鐘 18:00(京成ホテルミラマーレ)
- ・11日 新入会員卓話&50周年記念推進委員会(京成ホテルミラマーレ)
- ・18日 新入会員卓話&50周年記念推進委員会(京成ホテルミラマーレ)(寄付金受付)
- ・25日 休会

千葉西ロータリークラブ	総数	本日出席	前々回の修正	メンバー	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	46名	32名		0名	76.19%		22,000円	
	対象者	欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	
	42名	10名		0名	100.00%		304,500円	

■ 次週プログラム

10月28日(火)
第3・第4グループ合同ラーニングセミナー
14:00点鐘 TKP東京ベイ幕張ホール

クラブ広報・ロータリー情報委員会【委員長】川崎美嘉子【副委員長】*中村武弘・佐藤善一【委員】*荏司芳樹・*高橋健一郎・*足立啓輔・*坂本政和